

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年05月20日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県駿東郡清水町柿田626

氏名 臼井国際産業株式会社 柿田工場

井出 諭志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

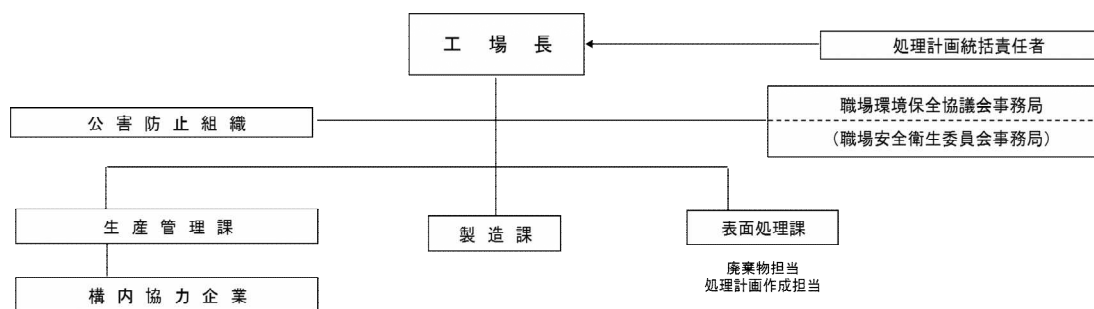
電話番号 055 - 972 - 2223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	臼井国際産業株式会社 柿田工場		
事業場の所在地	静岡県	駿東郡	清水町柿田626
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業		
② 事業の規模	中間工程の為売上額無		
③ 従業員数	58名(正社員20名、構内協力企業38名)		
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	帯鋼めっき工程	pH 2.0以下の廃酸 (Ni/Pめっき液、酸電解)	委託処理
		pH 12.5以上の廃アルカリ (シアン廃液、脱脂廃液、 亜鉛ニッケル廃液)	(還元焙焼、 中和処理)
	チューブめっき工程	特定有害産業廃棄物 (シアン汚泥、前処理汚泥、 有害汚泥、Sn-Zn剥離液)	

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.670 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	85.590 t
	汚泥	47.410 t
	(これまでに実施した取組) ・除炭酸装置冷却温度見直し (シアン汚泥) ・脱脂廃液の濃縮化 ・廃液の排水処理場処理 (亜鉛ニッケル廃液) ・シアンメッキラインの一部廃止 (シアン廃液)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	ph 2.0 以下の廃酸	1.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	60.000 t
	汚泥	40.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・異種廃液混合防止策 (有害汚泥発生防止) ・ポンプ液漏れ防止策 (Ni/P廃液) ・代替薬品の検討 (Sn-Zn剥離液) ・Zn/Ni廃液の濃縮化 (亜鉛ニッケル廃液)	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工程毎に発生した廃棄物を分別し、所定の置場に表示し保管
-----	--

②計画

(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・ 工程毎に発生した廃棄物を分別し、所定の置場に表示し保管

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	0.000 t
	汚泥	0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	0.000 t
	汚泥	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.000 t	0.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	0.000 t	0.000 t
	汚泥	0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.000 t	0.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	0.000 t	0.000 t

②計画	汚泥	0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量
	ph 2.0 以下の廃酸	0.000 t
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	0.000 t
	汚泥	0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
	ph 2.0 以下の廃酸	0.670	0.000	0.000	0.000	0.670
	ph 1 2.5 以上の廃アルカリ	85.590	0.000	0.000	0.000	85.590
	汚泥	47.410	0.000	0.000	0.000	47.410

(これまでに実施した取組)

- ・除炭酸装置冷却温度見直し (シアン汚泥)
 - ・脱脂廃液の濃縮化
 - ・廃液の排水処理場処理 (亜鉛ニッケル廃液)
 - ・シアンメッキラインの一部廃止 (シアン廃液)

②計画	【目標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	ph 2.0以下の廃酸	1.000	0.000	0.000	0.000	1.000
	ph 12.5以上の廃アルカリ	60.000	0.000	0.000	0.000	60.000
汚泥	40.000	0.000	0.000	0.000	40.000	
(今後実施する予定の取組) ・異種廃液混合防止策(有害汚泥発生の防止) ・ポンプ液漏れ防止策(Ni/P廃液) ・代替薬品の検討(Sn-Zn剥離液) ・Zn/Ni廃液の濃縮化(亜鉛ニッケル廃液)						
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和5年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	133.670 t				
(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェストへの加入済み						
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。